

【刊夕日十二月八】



定額 一圓 部金 二錢 一月 五錢 郵税 五厘
 印刷 日刊 大報 三行 一語 五字 行 五
 行 發 兼 編 印 人 川 崎 文 治
 所 行 發 常 磐 新 報 社 石 城 郡 長 岡 町 橋 三 五
 番 〇 三 六 話 電

寄書
若き日本の使命

池田生

英本國がドーバー海峡あるが爲にナポレオンの蹂躪を斥けた如く、日本は朝鮮海峽あるを以て彼のバルチック艦隊三十三艘を粉砕する事が出来たのである、亞細亞五千年の文化と歐洲二千年の文化とを渾一化して更にその上に偉大にして而かも清新濶大たる新文化を創造し、そして世界を照らし、やがて十七億の人類をして「生」の歡喜に躍らせる事は正に太平洋の要「若き日本」の使命であらねばならぬ、又一面には太平洋の波濤を制して、亞細亞大陸の守護をなし、亞細亞の平和を保障することは亞細亞の防波堤たる日本の直接當面の使命であり、間接には世界の平和に貢献する所以である、思惟するに日本が太平洋の浪枕の上なる長き眠から醒め、世界に乘を

擧げて茲に六十年、建國三千年の歴史を有すると雖も國際的には「若き日本」である事を否定する事は出来な、我等はなせもつと早く覺めなかつたかを恨めしく思ふ、漸く長夜の眠から覺めて目前の太平洋を眺めた時は既に遅かつた、日本が太平洋に活躍すべき餘地は無かつた、太平洋のすべての島々は日本が寢てゐる中に遠く歐羅巴亞米利加等より手を伸ばして取つてしまつた後であつた、然らば日本は何を取る可きか三百年の夢は決して安價なものではなかつた、日本は何を取るべきか、幾度地圖を披いて見ても島の懸ふべき巖石の一も殘されてゐないではないか、併しながらあつた天が日本の爲に残して置いた只一つの偉大なものがあつた、それは何であるか、曰く「太平洋の波濤」そのものである、島と云ふ島は一つも殘されてゐない爲めに天は太平洋の海上を以つてしたとより外に考へられない、天が如實にこれを日本人に告げ、日本人に意識

させた證據は舊獨逸領の南洋諸島が日本の委任統治になつた事は、日本がやがて太平洋の制海權を握つたと云ふ事で、それが今や展開されつゝある太平洋時代の文化發展に至上の便宜を興ふるものたるを信じて疑はざるものであります、克く天意を體膺して亞細亞歐羅巴の文化を打つて一丸としてアジヤを保護發達させると共に、世界の平和を確保し世界の人類をして「生」の歡喜に躍らせることは太平洋の制海權を許された、そして太平洋の要たる「若き日本」の使命であり天職でなくして何でありませう。（完）

常磐文藝

短歌

たけし・ふくだ

◇ひと思ひわつと泣きたい
 悲しさをもてあまして十八の年
 ◇聲あげて泣いてみたい日
 聲上げて歌つてみたい日
 けさの夜空
 ◇片戀よひとり眼ざめて泣
 きぬれる今年十八の春は
 惱しい

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス

警城セメント株式會社
 代理店 西村屋藥舗
 中町二丁目(電三)

農服

◇輕装上衣
 黒セル4・20ヨリ
 カシミヤ 10・00ヨリ
 ◇白直衣 1・60ヨリ
 ◇白づぼん 60ヨリ

輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。

平二あかや洋服店 電203

皆様の
 昭和タクシーは
 此際御得意様本位に
 貸切料金の値下斷行
 何卒御用命を

平驛前 電三四三番

開業廣告

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヘマスニ付御用命ヲ希上マス

金融、土地建物、電話其他ノ仲介、
 貸金の取立及賣掛代金整理
 家出人ノ捜査婚姻其他ノ身本内債
 本社 石城郡平町字十五丁目十二番地

元中警察署刑係部長 主幹 青田保太
 融社
 電話呼出(八〇四番)

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男
 入院隨時

鶴印特製最中

大鶴屋藥店

平町公園下 電話七〇四番

三百五十圓拂戻し

日付印から偽造發覺

昨日午前十一時頃年輪廿二才の若者が平郵便局に來り現在高四百廿圓の預金通帳を示し三百五十圓の拂戻しを請求し たが通帳の預入日付のスタンプが心持ち小さい為め不審をいだいた係員が預入局である湯本局に對し最後の預入金額八十圓が果してスタンプの日付に示す通り六月十五日に取扱ひを爲したか否やを電話で問合せた處當日は日曜日で貯金の取扱へは爲さぬとの

請求し

たが通帳の預入日付のスタンプが心持ち小さい為め不審をいだいた係員が預入局である湯本局に對し最後の預入金額八十圓が果してスタンプの日付に示す通り六月十五日に取扱ひを爲したか否やを電話で問合せた處當日は日曜日で貯金の取扱へは爲さぬとの

水道擴張

愈よ廿三日に

水道擴張工事に關する平町會は來る廿三日午後一時より町會議事堂に於て開會され工事費減額による豫算更正及び擴張工事委員推薦等施工準備に就いて附議する等であるが起債認可の條件及委員の割當等に關して多少の紛議はまぬかれまいと觀られてゐる

回答に

接し四百廿圓の現在高を勝手に記入し偽造スタンプを押捺した事が明らかとなり大騒ぎとなつたが件の若者は發覺を氣付いて早くも逃走し去つたので平署に急報、同署刑事は

通帳面

の貯金主石城郡湯本町入山第四坑佐藤某を手懸りとして目下捜査中である

平町

貨物の集散

發着共に減

平稅務署調査に依る昨年十二月より本年六月迄の上半

歴的に斯うせよといふわけにはゆかないから寧ろこれは組合を兼ねて協議すべきものだと思ふ、當方ではその上考慮する事にした」云々

平小鐵道促進

政府の緊縮政策にたゞられて工事は手年度を繰下げた平小鐵道の敷設工事を促進する

苦悶を押へた

胸上の片腕!

スル〜と動き出す……

自殺した溺死體

石城郡内郷村大字宮雜貨商小川松太郎弟小川末松(三)は十日四倉海岸に海水浴に行つたとき歸宅しないので實家では心配し 出し行方を

搜索中の處昨日四倉漁船が豊間沖に漂ふ一個の溺死體を認め船中に收容して午後七時頃四倉海岸に到着したので此の報に接した末松の近親者等は直ちに同海岸に駆付けられたが死後數日間波浪に揉まれた爲め顔面等は滅茶々々になつて見分けがつかず

僅かに 着て居た海水浴着に見覚えがあるといふもの、浴着の如きは同一のもの多から屍體が果して末松かどうか半信半疑であつた所胸の上にのせて居た屍體の右腕がスル〜と動き出し身側へと落ちた

庭球と野球

双方の覇者

何れも老武者達で後継者が見當らぬ

さてテニスの平町に興望を控ふ人々は誰か?嘗て東部に覇をとなへた鐵道省阿部組の奥津君が驍驍に轉動して郷里平町に住む關係上今では平クラブの大將だ、この人が來て凋落の同クラブに一脈の

生氣をもちたらしめたといふもの……然しそれも東の間で相棒の鴻池君が仙

面影を忍ばせて小ツツバのれ見よの概を示したの少なからず強味を感じせしめて止まぬ、あの人がテニスを續けてゐたればクラブの存在もはつきりしてゐる事筆者は太鼓判で保証する、それから吉田堀組も随分古い顔だが今以て健任、都市對抗で平町のため

貴重な点数を擧げてゐる、此他三井兄弟がある、昔取つた杵柄でチョイ

宿將としてフアン連の總本山だ、投手には何といつても若より他にないそれから石川友二郎君、この人の野球も随分久しい、兄貴の阿部さんと喧嘩しながら腕を擧げた、二三年こつち職務に没頭してゐるといふがまだ、ホームランの五六本はカット飛ばさうな意氣、水戸の鐵道クラブにゐた加藤君も今では平に

募集 文藝具投稿を募集します

書道の講習

展覽會と併せて

管城會館支那部では既報の如く廿三四の兩日平陽女學校に書道展覽會を開くが審査員として故齋堂翁の高弟たる松崎春川氏來平を機とし廿二日より三日間同校に於て書道講習會を開く由にて講習料は五十錢詳細は胡摩澤前記支部に問合されたし。

常磐片々

那川部村字小川齊藤一(三)他一名が飛び込んで救助した、人命救助として近く縣知事より表彰される等

溺れ子を救ふ

知事より表彰

石城郡上遠野村大字瀧字洞坂地内鮫川に於て去る十五日夕立のため増水した模様を見に行つた同村油座梅子(九)が足踏みすべらして一町餘流され危ふく溺死せんとしたのを通りかゝつた同

溺れ子を救ふ

今度の水道擴張町會で御託を並べる議員様は委員になりたいたい野心家と鑑定して間違ひなし

理髮店の等級制を組合の決議に俟ては少々無理、場末の斯業は少敷で二流店は大抵一流店の弟子上りで御座

ならず、ハイ

審判の聲が高い、齒科醫の神谷さん、平局の小林、渡邊、小野、鐵道の鈴木、上山等々の諸君がいざとなつたら破れたる具足と雖も瘦せたる馬に鞭打つてグラウンド目掛けて馳せ参じる覺悟の武者揃ひだが總じて

今は 寂れ切つて居る後継者となるやうな若い弱氣のある人が居ない、平運動界新人出でよ!だ。

(此の項づく)

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も

御用命通り一戸も



明日のラジオ 廿一日 西の風天氣よく 一時曇る

△前六〇〇 夏期獨逸語 講座(第廿八)小田切良太郎 講(第廿八)小田切良太郎 成講座(第十六講)エフ、エイチ、リッ

和洋合奏と獨唱 日活オーケストラ 獨唱 濱村陽子 指揮 田中豊明

一、納涼行進曲 田中豊明編曲 涼味を呼ぶ曲が築められ 「白帆」新内流し、盆踊り、三十三間堂、隅田川行進曲 等が涼し相に流れ出る

男度胸よ落しし、行衛さだめぬ浪人渡世、時と時節が来るまでは ○雨の堀端深さをさぐる 投げた小石の音さへて、波に映ろう柳の影に、無念丸 橋伊豆の傘

見えぬすがたの青い鳥、たづね倦んでチル〜ミチル 仰ぐ涙の夜の星、泣くなチル〜なげくなミチル、いまに明るい朝が来る

三、素浪人忠節の唄、槍の一筋かけだは命、荒野のはての太陽よ、明日は結んだ手にのぼれ

ラヂオドラマ 緑の朝 (小山内薫作) 出演 劇團新東京

この芝居は伊太利のガズリエレ、ゲンヌンチョの初期の作「春暁夢」の雛案である、これは大正七年八月

全体の 台詞の美しさは抒情詩として台詞の表はさうとする音楽的リズムは放送として相効果果的ではないかと思はれる、向このドラマの放送は今回はじめてである

一冊の代金 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に読める 川崎 回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

殿のいふことは我々の眠つてゐる魂の眼をさますのであるといふ、そして殿様の弟光綱の戀人竹姫が、亡き春姫の妹であることを語る殿様の義理はふら〜と出て来る、そしてうつつに語り、うつつに唄ふ、そして表の中へ来る、人々もつゞく、そこへ光綱と竹姫が来る、そしていたましく兄の狂氣を語る、そこへ再び兄の義理はあらはれて、何が象徴的なうつつ、な言葉を用いふ

磯がきの胡麻和へ 千葉太吉發表 △材料(五人前)磯がき十把、胡麻五勺、砂糖六匙 二杯、醤油少々

一冊の代金 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に読める 川崎 回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

謝 十週年記念 思切つた 値下斷行 皆様の御引立により開業十週年を迎へました、御厚意に酬ゆる爲と諸物價の下落に伴ふ値下を決行いたしました、尙ほ營業方法を改めて女給を廢しボーイを以て御客様に上品な接待を致させます。 来る廿一日より一週間 祝記念の爲として 料理一品に付五錢ツツを割引致します カフエー、タヒラ食堂 平町駅前(電話六二〇番)

本日より料金 大破格値下斷行 磐城タクシーへ 電話四五四番 平町駅前

外科 門線 上田外科醫院 電話一三九番 和食 食卓覆ひは、和久井屋 電話四五番

◆コークス大々の値下斷行

從來一俵金壹圓貳拾錢ノ

東京五斯コークスヲ

金九十五錢ニ値下ゲ致シマシタ

◆一家ノ經濟ハ臺所カラ

使へ馴レ、バコークス程

經濟ナモノハアリマセン

▼使用法ハ參上シテ御説明申上マス

◆配達迅速 御注文ハ一俵ヨリ御届ケ致シマス

電話二三七番

中野前

阿部石炭商店

電話七六六番 水野氷室コークス部

食用水販賣

配達敏速



魚問屋

丸市平四丁目

魚屋問屋

電話二一三番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 平町田町 電話五二三番

理想的耐水耐熱接合劑

キングパスト

○水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑
 一名コナニカワ
 ○四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的
 ○理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

小野屋藥店

電話一四四番

木村病院

平新川町十九 電話一六四番

産人科 院長 木村寅次郎
 女醫 木村コウ
 内臟外科 醫學士 松永憲一
 整形外科 醫學士 萩原駿二
 藥局 東京醫學士

腸胃弱き諸君！

夏に勝つべく服用あれ

ヘルプ

僅かの間に腸胃を健全にし
 著しく食慾と精力を増す。

下痢・腹痛・吐瀉を治し、腹瓦斯を止め……



本舖 東京 東池田 本町一丁目
 支店 東京 東池田 本町一丁目
 支店 東京 東池田 本町一丁目

主ヘルプ効	水食あたり	時化た	腸胃弱	慢性下痢	胃腸	定	旅行用	徳五	六三一
	多張	多張	多張	多張	多張	價	用	十	圓

品質家庭染料

みやこ染

平町一丁目 特約店 大平屋藥店 電話六四二番

久能木式石油コンロ

▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期
 部分品附屬品修理修繕 平町 吉田藥舖
 御一報次第貨物持參 城山